



令和6年度の主要実施事業報告



(1) 京丹後市文化財保存活用基金の運用

[基本方針 1-2-6]

京丹後市文化財保存活用基金から市指定文化財等補助金に200万円繰入し、補助金交付額の拡充をはかった。

なお、補助金は18団体に交付した。

- 具体的内容
- ・建造物修理(シロアリ駆除、屋根修繕、本殿解体修理、檜皮葺替修繕)
 - ・仏像修理
 - ・祭礼行事道具類新調



(2) 京丹後市市民遺産の初認定 <<資料 2-1>>

[基本方針 1-5-24]

令和6年4月1日から公募を開始。申請を受けた案件について市民遺産会議で審議した結果、2件が初認定となった。

認定第1号:久美浜一区秋祭り

認定第2号:吉沢区有文書および「資料 吉澤村文書」



(3) 網野銚子山古墳整備事業 <<資料 2-2>>

[関連文化財群 2-1-3]

平成30年度から本格実施中の網野銚子山古墳整備事業について、駐車場・ガイダンス施設の建設、丹後型円筒埴輪の設置を実施。

■網野銚子山古墳 史跡整備事業完了記念イベント

令和7年4月26日(土)開催予定

■SNSキャンペーン

整備工事の完了と記念イベントの開催についてSNSで投稿した方に、市内の古墳等のオリジナルロール付箋をプレゼント

期間:令和7年1月25日(土)~令和7年4月25日(金)

■古墳フェス「はにコット」ブース出展

令和6年11月24日(日)

■網野銚子山古墳御墳印の作成

オリジナル御墳印を作成。題字は、丹後緑風高等学校書道部に依頼。

■ガイド養成講座

9/29、10/12、10/26、11/9 の計4回実施。延べ105人が受講。





(4) 京丹後歴史文化めぐりマップ

[基本方針 1-3-11]

令和6年3月下旬にリリースした「京丹後歴史文化めぐりマップ」を活用し、スタンプラリーを実施(11/1~12/22)。

スタンプラリー達成者には「網野銚子山古墳御墳印」を配布。



(5) 本願寺修理現場公開 <<資料 2-3>>

[基本方針 1-4-17・19]

本市最古の木造建造物であり、重要文化財に指定されている「本願寺本堂」檜皮葺(ひわだぶき)屋根の全面葺き替えに際し、一般公開を実施。併せて、地域の小学校・中学校も現地見学を実施。



(6) 府大 ACTR・高龍小連携

[基本方針 1-5-26、関連文化財群 2-1-6]

令和6年度京都府立大学地域貢献型特別研究(通称:府大 ACTR)が採択され、湯舟坂2号墳プロジェクトにおいて、市教委・府大・須田区が協力し、須田平野古墳の発掘調査を実施。あわせて、高龍小学校との連携プログラムを実施し、5年生が総合的な学習の時間において須田平野古墳の発掘調査を体験。



(7) 丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業

[関連文化財群 1-3-2]

丹後震災から100年を迎えるにあたり丹後震災記念館の耐震化や新たな利活用について、広く市民の意見を徴取するためパブリックミーティングを開催するとともに、丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会を開催し、方針書を取りまとめた。